



報道関係者各位  
プレスリリース

2010年1月27日  
ABB 株式会社

**ABB ラテンアメリカのセーフティエクセキューションセンターが、  
重要な認証を獲得**

～アルゼンチンセンターは、ラテンアメリカ地域で初めて TUV 認証ファンクショナルセーフティマネジメントシステム(FSMS)を実践します～

(オハイオ、2010年1月18日発表) - アルゼンチン ブエノスアイレスにある ABB のセーフティエクセキューションセンターは、FSMS の導入により、国際規格に準拠した安全計装システムプロジェクトを実践しているとして、TUV の認証を受けました。

TUV Rhineland は、安全規格に対応した組織と製品の認証とアセスメントの世界的専門機関です。

これは、ラテンアメリカにおける TUV 認証の第 1 号であり、ABB の FSMS が、国際規格に準拠し、製品、エンジニアリング、プロジェクトチーム、設置方法などにおいて最良の実践モデルであると認められたのです。FSMS は、IEC61508 および IEC61511 のシステムコンフィギュレーション、プログラミングの適用、特定の産業における安全性応用のためのテストおよびフロントエンド安全コンサルティングを含む安全計装システム(SIS: Safety Instrumented System)の実践について、世界基準の対象要件を全て満たしています。

「今回認証を得たことは、お客さまの最も大切な資産 - 人員、環境、そして周辺のコミュニティ - を守るために必要な、より優れた安全ソリューション、製品そしてサービスをお届けするために ABB が邁進している証明です。我々のお客さまは、工場の安全性と、プロセスの完成度には決して妥協を許さないのです。故に、業界における要求水準を十二分に満たし、認証を得た安全ソリューションおよびサービスの実践が彼らの成功のためには大変重要なのです。お客さまがこのゴールを達成するために、私たちはお客さまと緊密な連携のもとに活動しています。」と、アルゼンチンの ABB セーフティエクセキューションセンターマネージャー、ギレルモ・レアンザは述べています。

ABB は、1979 年に北海の Statjord B オフショア石油プラットフォームの最初の緊急停止システムを稼働させて以来、安全計装システムの開発と提供において、常に第一線にいます。そして 2009 年に、その 30 年にわたる安全システムの経験を祝いました。これらのソリューションは、まさに人員とプロセスの両方を、世代を越えて守り続けているのです。

■ABB について ( <http://www.abb.com/> )

ABB は、世界のおよそ 100 カ国に 120,000 人の従業員を擁する 電力技術とオートメーション技術のリーディングカンパニーです。環境負荷を最低限に抑えながらお客さまの業務効率を最適化するソリューションの数々を、産業界と公益事業の皆さまに提供しています。

■ABB 株式会社について ( <http://www.abb.co.jp/> )

ABB の日本法人である ABB 株式会社は、国内において電力およびオートメーション事業を、製造、販売、サービス分野にわたって展開しています。

また、ABB の日本国内における活動は、ABB 株式会社と 3 つの合弁事業から構成されており、ABB ジャパングループとして約 700 名の従業員、12 都市にわたる販売/サービスネットワークを擁しています。



【本件に関するお問い合わせ先】

ABB 株式会社

所在地: 〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町 26-1 セルリアンタワー

担当 : 広報部 フランクリン・ワン(Franklin Wang)

E-MAIL: [jpabb.communications@jp.abb.com](mailto:jpabb.communications@jp.abb.com)

TEL : 03-5784-6254

FAX : 03-5784-6281